

第1回 大宮駅東口駅前賑わい拠点まちづくり懇話会

(3) 新しい大宮小学校の施設のあり方について

1 実施方針等における大宮小学校の施設の方向性

実施方針の「基本的な考え方」、「導入機能のイメージ」、「公共施設の整備方針」

■基本的な考え方

「大宮小学校と大宮中部公民館の複合化」

■導入機能のイメージ

「まちに対してひらかれた小学校・公民館でありながら、豊かな環境と安全性を兼ね備えた機能」

■公共施設整備方針

●大宮小学校

- ・都市空間に位置する小学校としての整備
- ・教育上支障がない範囲で学校敷地の有効活用を柔軟に検討
- ・将来的な児童増や、改修時の教室の仮移転などに対応するため、民間等との連携についても検討
- ・体育館や特別教室等については児童の安全確保を前提とした地域への開放を検討

●大宮中部公民館

- ・小学校の建替えと合わせて複合化することで、小学校と一体的な生涯学習の場を目指す。
- ・公民館が小学校や民間施設、ひろば空間と連携して活動の場を広げることで、地域・社会交流等を促進

1 実施方針等における大宮小学校の施設の方向性

大宮小学校と大宮中部公民館の概要

大宮小学校の概要

- ・ 明治6年創立。開校以来、**152年にわたり大宮における学び・教育の中心的な役割**を担っている伝統校
- ・ 大宮小学校が長年築いてきた「**学び・教育**」の**レガシー**を発展的に引き継ぐことが必要
- ・ 敷地面積：17,220㎡
- ・ 延床面積：8,269㎡
- ・ 昭和30年建築（築70年）



大宮中部公民館の概要

- ・ あらゆる世代が「**気軽に**」・「**楽しく**」・「**何度でも**」学ぶことができるよう、学びで結ばれた地域の「**賑わい**」と「**居場所**」づくりに貢献してきた地域の拠点
- ・ 敷地面積：472㎡
- ・ 延床面積：611㎡
- ・ 昭和53年建築（築47年）



1 実施方針等における大宮小学校の施設の方向性

「第4期教育振興基本計画」、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

「第4期教育振興基本計画」

■教育振興基本計画におけるコンセプト

「持続可能な社会の作り手の育成」

「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

■教育振興基本計画における5つの基本的な方針

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて
学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き
出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向
けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）
の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

文部科学省「第4期教育振興基本計画」概要】より抜粋
https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_oseisk02-100000597_02.pdf

「新しい時代の学びを実現する 学校施設の在り方について」

■新しい時代の学びを実現する学校施設の姿

Schools for the Future

～「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、
学校施設全体を学びの場として創造する～

■新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方

学び：柔軟で創造的な学習空間

生活：健やかな学習・生活空間

共創：地域や社会と、ともに創造する共創空間

安全：生命を守り抜く、安全・安心な教育環境

環境：脱炭素社会に貢献、持続可能な教育環境

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」【概要】より抜粋
https://www.mext.go.jp/content/20220328-mxt_sisetuki-000021509_1.pdf

2 大宮小学校の施設のあり方について

小学校・公民館の各空間・機能の関連イメージ（※利用者ベース）



2 大宮小学校の施設のあり方について

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を踏まえた大宮小学校の施設整備の方向性

○1人1台端末環境に対応したゆとりある教室の整備



横断的な学び、多目的な学びに対応した創造的な空間
誰もが安心して学べる環境の整備

○持続可能な教育環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入と環境教育への活用

○多様な「知」を集積するための複合化・共用化等



他の公共施設(公民館)との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積

○子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境



安全性を確保した学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点
避難所としての自家発電、バリアフリー等の防災機能を強化